

(福) ケアハウス信愛館

◆「白い雲、渡り廊下に君が笑み」どなたかが詠まれた一句が頭をよぎり、秋空に広がってゆきます。田んぼの稲穂も眩しい黄金色となりコンバインの音が響きます。

◆七月二十五日(日)「ヴォーリスさんを知る会」入居者の方が企画され里内の老健事務長、藪秀実先生よりご講演をいただきました。ヴォーリスさんが残された「近江に神の国を」の考えに触れられる機会となりました。

◆八月十二日(水)夏祭りを開催しました。



新型コロナウイルス警戒レベルⅢ・まん防発令の中、感染防止対策を徹底し黙食を守っていたいただきながら、ここはお祭り気分。厨房職員



総出で出店を組立て、ジュージューたこ焼き、ホットプレートの上には焼きそば、細巻き寿司とスイカなど普段とは異なるお祭りメニュー。また、職員によるハンドベル演奏をお聞きいただきました。「とても良かったですよ。クリスマスが楽しみですですね。」など感想を頂き、嬉しい恥ずかし照れ笑のひと時でした。

◆八月十四日(土)近江八幡市に土砂災害警戒警報が発令。裏山からの鉄砲水や土砂崩れ、館内浸水等どうにか未然に防ぐ対策を講じるとき、船木町の辻コーポレーショ



ン様より排水ポンプ3台を無償で借りることが出来ました。お蔭様で7台の排水ポンプを用い館内浸水を防ぐことが出来ました。優しいお心遣いで助けて頂きましたこと、心から感謝を申し上げます。また雨の中お手伝い頂いた辻社長や桑原組の方などご協力いただいた皆様に心から感謝と御礼を申し上げます。

◆八月二十日(金)八月度の誕生会です。岸谷伊佐子様・田中かづよ様・井上智重子様、三名の方です。ヴォーリス記念病院の中心信雄チャップレンより「感謝のお祈り」をしていたいただき入居者の皆様と共に御祝いしました。



最後になりましたが、一日も早いコロナ収束を願い、そして諦めず、マスクの中は笑顔で感染対策を徹底したく思います。

渡辺 久子・報